

やまが

平成28年11月1日 発行／山鹿市議会

市議会だより

第11号



運動会(山鹿小学校)

もくじ	▶ 常任委員会行政視察報告……………	P2～3
	山鹿市の農林業を考える議員の会発足……………	P3
	常任委員会審査と報告……………	P4～P6
	市政のここが聞きたい(一般質問)……………	P6～P9
	審議した議案と結果一覧・賛否表及び討論……………	P7～10
	議会の主な動き・傍聴する時の注意事項……………	P12

先進地の取り組み —行政視察より—

総務文教常任委員会

平成28年7月28日～30日

■宮城県名取市
「人口増加を続ける魅力満彩都市」
について

名取市は、「全国住みよさランキング」において、東北地区で6年連続第1位の地方都市である。震災では甚大な被害を受けながらも、人口は年間1000人～1800人増で推移し続けている魅力の主な要因としては、住民の利便度と快適度によるところが大きく、都市部への交通手段の利便性や民間による土地開発、大規模店舗の進出等により、それまで通過都市だ



総務文教委員会（名取市議会議場）

った人の流れが大きく変わってきたことを挙げられた。本市の喫緊の課題である人口問題や定住の魅力を考える上で、いろいろな要因と経過、また課題も分かり、大変参考になった。

■宮城県石巻市

「震災復興状況」及び「議会の震災時の対応」について

石巻市は、東日本大震災での全被害の5分の1と最も大きく被災した市で、震災から1箇月後には山鹿市からも応援職員を派遣したことなどで、関連の深い市でもある。全ての漁港と16の学校が使用不能となり、災害廃棄物は通年の100年分に相当する量が発生するなど想像を絶する震災被害から5年が経過した。現在も、防潮堤や海岸堤防、復興公営住宅の建設など、復旧・復興は段階的に進められているが、コミュニティ形成など難しい課題も残る。

議会の対応としては、できる限り現地に足を運び被災状況の調査と住民の要望を聞き、国や県、関係機関への要望活動につなげてきたと説明があった。

突然の災害で、ライフラインの寸断に加え情報が全く届かない状況下で、いかにして迅速な情報収集や情報発信が出来るかの重要性を再認識させられ、議会の災害時の対応を検討する上で、大変参考になった。

建設経済常任委員会

平成28年8月1日～3日

■香川県さぬき市
「さぬきワイナリー」

平成4年に第3セクターとして経営がなされた。現在の生産量はピーク時の約半数に減少したとのこと。原因としては、ブームの終了と生産農家の減少が挙げられた。山鹿市においても、平成31年にワイナリーの建設が行われる。ワイナリーの安定経営のためにも、観光戦略・販売戦略を検討する必要があると考える。

■香川県高松市

「高松丸亀町商店街振興組合」

商店街の再開発の取り組みとして地権者の出資でつくられた「まちづくり会社」が、全ての商店の地権者と定期借地権契約を結び、使用权を取得し、補助金を利用して建物の整備を行っている。その結果、シャッターが閉まっていた店がなくなり、新たな賑わいを生み出した。また、売り上げのノルマを設定し、達成できなければ、新たな業者と入れ替えを行うなど、妥協を許さない取り組みが行われている。

■徳島県徳島市

「阿波おどり会館」

阿波おどり会館において、阿波おどり公演の視察を行った。昼3回から4回、夜1回の公演が毎日

行われ、公演には15人から20人ほどの人が出演されている。八千代座での山鹿灯籠踊り公演との差を感じた。

■徳島県勝浦郡上勝町

「株式会社いりどり」

株式会社いりどりにおいていりどり事業の説明を受けた。いりどり事業とは、料理に添える葉っぱ類の出荷を行う事業である。生産者・株式会社いりどり・農協が連携し、市場をネットワークで結び、全国の市場情報を共有することで、適時に葉っぱを供給することが出来るものである。高齢化率52%の上勝町ならではの事業であると思



建設経済委員会（阿波おどり会館）

平成28年8月4日～6日

① 神奈川県横浜市
議員提案条例

「災害時自助共助推進条例」

防災、減災に大変有効だと思われる条例を議員提案で制定されている。制定について、内容の妥当性、提案までの枠組み、市民参加について説明を伺う。地域の実情に合った議員提案条例を制定するための参考になった。

② 神奈川県三浦市立病院
経営改革について

存続さえ危ぶまれる経営状況から、医師の招聘や地域医療連携など多岐にわたる経営改善策を実践し、住民ニーズに応えた医療の提供と経営健全化を図られている。山鹿市の公立病院経営



市民福祉委員会（境町役場会議室）

においても具体的な改革策を取り入れたい。

③ 茨城県常総市
常総市社会福祉協議会

平成27年9月関東・東北豪雨避難支援の取り組み

発災当初の避難、災害ボランティアセンターの立ち上げ、地域支えあいセンターについて伺う。現在も常総市の委託を受け半壊以上の5275件全てを訪問し相談支援を継続されている。生活再建のためにはこうした取り組みが重要である。

④ 茨城県境町

平成27年関東・東北豪雨被害復旧施策について
ふるさと納税による熊本地震支援について

鬼怒川決壊により被災した常総市の西に位置する境町は利根川決壊により被災した。町長自ら詳細に説明いただき、災害時に何をなすべきか、ポイントを押さえた取り組みがされたことを学んだ。避難勧告の発令から大量の災害ゴミ問題、町独自で公的支援を引き出す工夫などの確でスピーディーな判断が住民への大きなサービスとなっていた。

熊本地震では被災した自治体に負担をかけない支援策としてふるさと納税を代理受付し、4月16日～4月30日まで1億1千万円を集め熊本県に届けられた。昨年の被災体験で納税証明書の発行などの余裕がなく寄附を受け付けることが困難だと判断し、全国初の取組みをされた。必要な紙や封筒は全て境町が負担されていた。

「山鹿市の農林業を考える議員の会」を設立

山鹿市の農林業の発展に寄与することを目的に、市議会議員有志13名により設立しました。

平井邦廣会長は基幹産業である農林業が前進するように、後継者、担い手不足や経済的な問題を解決するために関係機関と連携を密にし、取り組んでいきたいと挨拶があり、また、設立総会に先立ち中嶋憲正市長による「山鹿市がめざす農林業」と題した講演がありました。

〈講演から〉

- ① 山鹿市の農林業の現状と課題
- ② 多様化する農業のシステム
- ③ 様々な担い手を支える支援策をどう生かすか
- ④ 国策を市の施策に取り込む
- ⑤ 雇用、新規就農者支援を充実し農林業を守り生かす

現状や課題、制度までも年々変わっていく中で、山鹿市の農林業をより活力あるものにしていくために議員として調査、研究、陳情、提言などを行っていきます。



農林業を考える議員の会設立総会

鹿本保養センター跡地の公売とリース審議！

◆付託案件

議案4件…可決
認定1件…認定

◆現地調査

- ①鹿本町来民 吉岡家住宅
- ②消防本部
- ③米野岳小学校
- ④米田小学校

◆主な審査内容

総務部関係

議案第84号 平成28年度山鹿市一般会計補正予算(第4号)財産管理費について

問

鹿本保養センターの現在の評価額はいくらに設定してあるか。



総務文教委員会 (鹿本保養センター跡地)

答

平成20年に最初の公売を行っているが、その時の評価額が7700万円。その後3回公売しており、最後の平成26年1月時の予定価格は5917万3千円。

問

今まで、購入したいという声はあったか。

答

4回行ったなかで問い合わせは1、2件あったが、申し込みは1件もなかった。

問

面積が分からないと安いかわいか分からない。面積はどうなっているか。

答

鹿本保養センターと元農業共済組合が隣にあり一緒に公売する予定。その面積は4109・61㎡となっている。

教育委員会関係

認定第1号 平成27年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について

問

ランドセルの購入単価はいくらか。また、購入先は地元業者か。

答

購入単価は約3万円を見込んでいる。購入先は全て地元の業者による入札で決定をしている。

問

子育て支援センターにおける各地区の職員は何名体制か。

答

山鹿子育て支援センターは正職2名、臨時1名、計3名。鹿北・菊鹿・鹿本・鹿央4箇所については正職1名、臨時1名計2名体制で行っている。

問

保護者が原因での不登校はあるか。

答

保護者が原因で不登校になっているケースもある。

問

長野瀆平を取り上げたドラマの活用はどのように考えているか。

答

制作した後テレビ局よりDVDをいただいている。DVDを市内の小中学校へ配布している。

ただし、もっと多くの所で見ていただくチャンスを作るべきと思う。

長野瀆平ドラマは山鹿市の新養蚕のプロジェクトと深い関わりがあるので、今後もDVD等を活用し、映像を見てもらう機会を増やしていかなければと思っています。



現地調査 (山鹿市消防本部の救急デジタル無線システム)

現地調査

①鹿本町来民 吉岡家住宅

山鹿市鹿本町来民に所在する吉岡家住宅の6件が登録有形文化財(建造物)として登録される予定。(正式な登録は、今年11月の予定)

関連施設を見学後、詳細にわたり説明等を受けた。

②消防本部

山鹿市民の生命・財産を災害から守る最新鋭の消防救急デジタル無線及び指令システムの概要を消防本部職員より説明を受けた。

③米野岳小学校

6月の集中豪雨による被害状況を確認した。

今後の復旧工事の概要についての説明を受けた。

④米田小学校

増築改修中の「めのだけ小学校」施設整備の状況について、担当者から概要説明を受けた。

平成27年度 予算執行の評価と認定を審議！

◆付託案件 議案6件…可決
認定5件…認定

◆現地調査

- ①あやすぎデイサービスセンター
- ②旧岳間小学校（過疎地域活性化支援事業）

◆主な審査内容

議案第82号 山鹿市介護保険法に基づく事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

問

地域密着型介護事業に移行するのは何事業所あるのか。どう変わるのか。

答

利用定員が18人以下の小規模な通所介護事業所について、指定の権限が県から市に移譲された。9事業所が該当する。給付についての国、県及び利用者への負担の割合は変わらない。事業所の整備等については、第7期の計画に基づき必要に応じて調整していく。

問

介護ロボットとはどのようなものを導入するのか。

議案第86号 平成28年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

答

高齢者施設において介護職員への負担軽減のためマッスルスーツを1着分導入する。

議案第87号 平成28年度山鹿市病院事業会計補正予算（第1号）

問

議案第89号 損害賠償の額を定めることについて

答

第一義的には医師個人ではなく市に責任がある。発生から転院・手術を経て通院治療を終えられてから示談を行ったため。

認定第1号 平成27年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について（中所管）

問

窓口業務委託は開始1年になるが、現在はどうな状況か。

答

社員のスキルアップを図り、処理能力は高くなっている。

問

証明書コンビニ交付の状況について

答

利用状況はあまり多くはないが、市民サービスの向上を第一の目的としている。今後もコンビニ交付に必要な個人番号カードの普及を促進することで、利用拡大につなげていく。

問

答

焼却施設の建設の進捗状況は。設計施工を一括で発注する。技術提案書をもとに11月中旬に決定する予定。

現地調査

①あやすぎデイサービスセンター（鹿北町岩野）

広域型から地域密着型への移行を図り、今後は事業所から地域へ出向くことも考えられていた。高木施設長は介護施設でのショートステイの充実を含め、個々に応じたサービスを提供することにより、在宅介護を持続できるように尽力したいと話された。



②旧岳間小学校

平成25年に閉校した岳間小学校の一部を地元の地域づくり団体が活用している。地域づくり推進事業、廃校跡地活用協働促進事業、過疎地域活性化支援事業により施設の改修等を行い、現在カフェ、ギャラリー、図書室等を運営されている。学校を一般の施設として利用する際には建築基準法や消防法が厳しくなり、営業するためには排煙窓の設置など防火対策や食品衛生法に基づく改修が必要となるなど課題も多かった。今後は学校カフェや各種講座、イベントでの集客を図りさらなる活性化を期待したい。



市民福祉委員会 現地調査（旧岳間小学校）

6月の豪雨による甚大な被害！

◆付託案件

議案3件…可決
認定9件…認定
請願1件…継続審査

◆現地調査

- ①薬師堂改修工事
- ②農業用施設災害復旧事業における内野区ため池
- ③公共土木施設災害復旧事業における荒平川

◆主な審査内容

議案第80号 専決処分の承認を求めることについて（平成28年度山鹿市一般会計補正予算（第3号））**中所管**

問 公共土木施設災害復旧費で何箇所かの復旧事業なのか。

答 6月の集中豪雨によるものであり、山鹿地域100箇所、菊鹿地域71箇所、鹿北地域53箇所、鹿央地域43箇所、鹿本地域6箇所である。

問 機械の借上げ料の上限はあるのか。

答 上限はない。

答 電気関係の故障が原因であった。その後すぐに復旧した。

問 認定第13号 平成27年度山鹿市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 雨水・汚水の分流されていない場所はあるか。その場所は。

答 温泉プラザ裏近辺と新町の一部である。

問 滞納についての市の考えは。

答 一般会計・特別会計にかかわらず、基本的には徴収に力を入れていく。また、ほとんどが重複滞納であるため、各課で連携し徴収を行っている。

問 最近、競売の話がないような気がするがどうか。

答 最近では、滞納が少なくなっている。

問 請願第5号 花見坂（栄太郎横）くもくせい学園入り口間の電線地中化工事を求める請願書

答 執行部から、事業費の概算は8億5千万円程度との説明があった。また、財源内訳は、国が1億7千万円、市が6億8千万円程度とのこと。委員より、もうしばらく勉強をしたいとの継続審査の提案があり、閉会中の継続審査となった。

現地調査

①薬師堂改修工事

思いのほか傷みがひどいものの、工事は順調であり、11月の温泉祭までには完成するとのこと。

②農業用施設災害復旧事業における内野区ため池

6月22日の梅雨豪雨により被災した、平山の塩蔵ため池、11戸が受益されており、早期の復旧を望む。

③公共土木施設災害復旧事業における荒平川

5月の梅雨豪雨における、河川のり面の被災である。こちらも早期の復旧を望む。



建設経済委員会 現地調査（薬師堂）

市政のここが聞きたい!

質問 来年2月の市長任期を控えて中嶋市長の 思いをお伺いする



富丸洋一郎 議員

答弁: (市長)

新市発足以来の12年間を振り返り、山鹿市の未来を見据えての判断が必要である。「市民の融和」「着実な社会資本整備」「確実な行財政改革」の3つに取り組み、市民の皆様のご理解をいただき、確実に進めることができた。

現在、施政方針の3本柱を深化させるために「山鹿灯笼ジャパブランド構想」「新養蚕産業構想」「菊鹿ワイナリー構想」「菊池川流域日本遺産登録」といった「地方創生、山鹿版総合戦略」、さらに懸案事項である「新焼却施設建設」「学校規模適正化」などの事業を展開中であり、こうした取り組みを投げ出すわけにはいかない。これらに花を咲かせ、実を成らせ、市民の幸福を生み出さねばならぬ思いから、次期市長選へ出馬したいと考えている。



永田 健 議員

質問 防災行政無線及びオフトーク通信について

- 防災行政無線の現在の整備状況
- 代替サービス「やまがメイト」の文字を使用した情報配信の拡大と土・日等の運用

答弁: (総務部長)

山鹿・鹿本地区は合併前整備のアナログ式の施設、鹿北・菊鹿・鹿央地区はデジタル式で屋外子局を計145局整備している。やまがメイトについては、利便性向上に資するよう、文字を使用した情報配信と土・日等の運用改善に取り組みたい。

質問 戸別受信機の設置と難聴地域解消への 取り組みについて

答弁: (総務部長)

屋外の音圧レベルが45デシベル以下でスピーカーの向き調整等で解消ができない場合に戸別受信機を設置する。難聴地域に関しては、スピーカーの向き調整等や戸別受信機の設置などで丁寧に対応する。

質問 山鹿市のスポーツ振興について

- 熊本・県北のスポーツの聖地及び県営総合運動公園への働きかけを要望する。また、市内体育施設の利用状況と大会等の開催状況、それに伴う宿泊等の経済効果を問う。

答弁: (教育部長)

平成27年度に36施設で44万1578名が利用。県大会以上のスポーツ大会は57の大会で6万1840名が利用。山鹿温泉観光協会取扱の大会で約1万9000名の宿泊、約2億5100万円の経済効果が推計される。



高校柔道大会の様子 (山鹿市総合体育館)

質問 小学校運動部活動の社会体育移行について

事実上、部活は廃止し、その受け皿は総合型スポーツクラブやスポーツ少年団、もしくは保護者が運営するクラブということになるが、問題点はどのように解決していくのか。経済的な理由や送迎等で児童に不利益にならないようにしてほしい。

答弁:(教育部首席教育審議員)

平成31年には完全移行するよう教育委員会が県教委と連携して進めている。保護者への説明は学校が行う。保護者が運営する場合、指導者の確保は指導者人材バンクを活用する等行っていく。会場の減免措置はないがスポーツ少年団に加盟すると適用される。活動時間の開始が遅くなることにより放課後児童クラブの受け入れ等も協議しながら行っていきたい。



服部香代議員

質問 災害時における要支援者避難と防災リーダーの育成について

答弁:(福祉部次長・総務部長)

災害が発生したときに、自ら避難することが困難な方を登録した名簿である「避難行動要支援者名簿」の登録者で、情報提供の同意が得られていない方については、1人でも多くの方から同意が得られるよう理解を求めていく。要支援者への避難情報の伝達は多様な手段を用いることとし、避難行動要支援者個別計画等を策定するよう努めていく。防災士の資格取得には支援制度も利用してもらい地域防災リーダー育成に努め防災力強化を進めていく。

質問 小学校のエアコン設置について

猛暑日も増えており、小学校のエアコン設置は急務だと思うが計画について問う

答弁:(教育部長)

中学校の全ての普通教室には設置できた。小学校は現在38%が設置済みであり今後は再編事業に伴い整備を計画している。再編事業が終了するまでには全ての小学校に設置したい。

質問 ふるさと応援寄附金のシステム構築の進捗状況等について

答弁:(総務部長)

返礼品は市内産のもの(生産、原材料等)で地域産業振興に寄与するものを主な条件とする。寄附申込みから各種書類の発行、返礼品の発送等の一連の業務を代行する業者に業務委託契約している。平成28年11月の開始を予定している。

質問 日本一の学園都市「やまが」について

教育長就任の際に「日本一の学園都市」を目指すと言われた3本の柱「校務改革」「授業改革」「中学校区の学園化」の達成状況について問う。

答弁:(教育長)

第1の柱「校務改革」については、職員朝会や職員会議、学校行事等を精選することにより、教職員が教育の本務に専念できる学校環境づくりを整えた結果、昨年度末の不登校の出現率は0.4%と極端に少ない状況である。第2の柱「授業改革」については、ユニバーサルデザインに基づく環境づくりやインクルーシブ教育の研究、学び合いとまとめに重点を置いた授業づくりの結果、平成27年度の県学力検査においては、全ての中学校と大半の小学校が県平均を上回っている。第3の柱「中学校区の学園化」の中心的な取り組み「あいさつ運動」については、中学校区ごとに幼稚園・保育園・小学校・中学校が共通の課題意識を持って取り組んだ結果、教師主導の挨拶指導から生徒主体のあいさつ運動へと発展している。



富田弘海議員



小学生の登校を見守る中学生のあいさつ運動

質問 農地災害について

国の災害復旧事業の対象とならない小規模災害への市単独制度の考えは。

答弁:(市長)

現在は、必要に応じ杭や土のうなどの原材料支給を行い、個人での復旧をお願いしている。また、中山間地域等直接支払いや多面的機能支払などに取り組んでいる地域では、地域の同意を得て、災害復旧はできるので、まずは事業を有効活用し、農地の保全に努めていただくとともに、事業に取り組む地域の拡大推進を行う。しかし、事業で対応できない地域(特に中山間地域)では、耕作放棄地が増える状況も考えられるので、十分精査していく。

質問 被災者支援システムの導入について

被災者情報を一元的に管理するシステムの導入についての見解を伺う。

答弁:(総務部長) 今回熊本県の主導によって導入されたシステムの検証や他に開発されているシステムの調査、避難行動要支援者台帳システムや各種データとの連携などを十分調査・研究したうえで進めたいと考える。



北原昭三 議員

質問 コンビニへAEDの設置について

先進地状況等を参考にして検討するとあったが検討された内容について伺う。

答弁:(市長) 今後も先進地を注視しながら、検討したいと考える。

質問 ピロリ菌検査の実施及び助成について

平成29年から市の各種がん検診にピロリ菌検査を追加することに対しどのように考えているか。

答弁:(福祉部長)

平成28年から29年度にかけては、総合的な判断を行う期間と位置づけ、平成29年からの実施は考えていない。

※ この他に中学3年生を対象にしたピロリ菌検査の実施について伺った。

質問 公共交通の運営体制について(新玉名駅から山鹿温泉行きバスの運行について)

新幹線と路線バスの接続に時間的な問題はないか。また、観光客増につなげる施策はあるか。

答弁:(市民部長)

路線バスの運行ダイヤについては様々な問題を含んでおり、関係機関との調整が必要になる。公共交通を活用した観光施策については、利便性向上と利用促進に努める。

質問 納涼花火大会・山鹿灯籠まつりの開催日について

観客数が減少傾向にあると思う、納涼花火大会・千人灯籠踊りの開催日変更はできないか。

答弁:(経済部長)

開催日も含め、広く市民の皆様のご意見を伺いながら、灯籠まつりの運営のあり方をしっかり論議していく。

質問 小中学校規模適正化推進事業に伴う廃校の跡地利用について

- ①学校の統廃合が進んでいるが、跡地の活用状況について伺う。
- ②跡地利活用の方向性について伺う。
- ③菊鹿小学校の通学路整備が一部遅れているが、教育委員会の取り組みを伺う。

答弁:(①②教育部長、③教育長)

- ①鹿北地域の岳間小学校跡地は、地元の「岳間を考える会」が地域づくりのために活用中。岩野小跡地は、グラウンドと体育館を社会体育施設として活用中。広見小跡地は、(株)あつまるシルクへ譲渡し、新養蚕産業構想が進められている。川辺小跡地は、校舎等を解体し、地域の活動拠点となるコミュニティーセンターの建設計画を進めている。
- ②市の基本方針に基づき、地域の意見を踏まえながら個々の跡地活用の方向性を明らかにする予定。
- ③竜口交差点からみどり団地下までの県道熊本菊鹿線について、今年度中に歩道設置の測量設計に取りかかると聞いている。早急な工事を強く働きかけていく。



平井邦廣 議員



あつまる山鹿シルク養蚕工場完成予想図

質問 農業振興について

- ①第2次総合計画における今後10年間の市の農業振興をどのように図っていくのかを問う。
- ②新規就農者の研修施設の設置の時期、体制について問う。

答弁:(経済部長)

①今後の農業振興については、第2次総合計画に掲げているように、農業担い手の育成と稼げる農業の推進を図るため、研修施設の整備を含む担い手の育成支援、

6次産業化の総合支援、地産地消・食育の推進などの支援事業等を効果的に実施していくことにより農業経営の安定化や農家所得の向上につなげていく。

②研修施設の設置時期については、平成29年度以降整備に向け熊本県や鹿本農協など関係機関と協議を行っており、体制についても協議の中で検討を進め連携して取り組んでいく。

計画段階から、それぞれの機関の意見を反映させることで、整備後の指導体制の確立も出来るものと考えている。

質問 イノシシの被害対策について

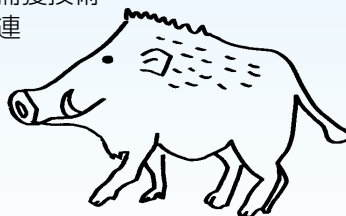
- ①イノシシ被害に対する平成27年度の取り組み状況について
②今後の取り組みについて ③狩猟期間、区域、支援について

答弁:(経済部長)

- ①イノシシの農作物への被害状況は、38.8haの1873万円、捕獲頭数は1810頭で、防止対策として防護柵や電気柵の設置費用補助、箱わなの購入補助、新規狩猟免許取得の補助を行っている。
- ②防護柵の設置などの継続と猟友会の活動が重要なため、会員の捕獲技術の向上を図る研修会の開催やわな猟免許の取得促進、猟友会と連携し新規会員の確保に取り組んでいく。
- ③狩猟の期間は年間を通して切れ目なく駆除捕獲ができるよう従事者証を発行し、区域は、旧市町分会ごとの捕獲となっていたが、本年10月から区域撤廃を行い、鳥獣被害防止の国の補助金は、要望額の確保を図り支援したい。



稲葉 昇 議員

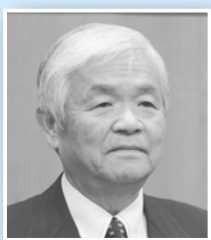


質問 オフトーク通信の代替え「やまがメイト」について

オフトーク終了に伴い導入を進める「やまがメイト」への移行について、その取り組みの内容と進捗はどうか。また、オフトーク利用地区以外への対応はどうしているのか。

答弁:(総務部長)

オフトーク利用地区では行政区ごとに説明会を開催し、本年10月をめどに終了する計画である。日常的な質問には、本庁の情報管理室及び各市民センターで対応する。また、オフトーク利用地区以外の市内全域の方のもとより市外の方も利用できる。そのため、市内全域において利用者向けの出前講座も実施し、利用促進に努める。



永田 紘二 議員

質問 教育委員会制度改正後の山鹿市の対応について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が、昨年の4月1日から施行されている。制度改正後の山鹿市の対応と市長の思いを問う。

答弁:(教育部長)

教育部長と教育長を一本化した新「教育長」制度へは、経過措置により来年4月から移行する。また、市長が主宰する「総合教育会議」を昨年度5回開催し、総合教育会議で協議を重ね、教育行政の指針となる「大綱」を本年2月に策定した。

答弁:(市長)

教育の現場においては、いじめや不登校、子どもの貧困問題をはじめ、総合的な放課後対策など、教育行政だけでは解決が困難なさまざまな課題が生じており、昨年度策定した「第2次山鹿市総合計画」の柱の一つである、「やまがを元気にする人材の育成」を具現化していくためにも、市長部局と教育委員会がこれまで以上に認識を共有し対応していく。

質問 消防組織の現状と今後の対応について

答弁:(消防長)

常備消防の職員数は、市からの出向2人を含め79人である。非常備消防の団員数は、2113人であるが、日中の活動可能な団員数は全体の4分の1程度であり、消防力の低下が懸念されており、その対応策として、機能別団員60人を組織している。

今後、市民の安全・安心な暮らしの実現に向け、消防団本部と協議を重ね、機能別団員の増員等について検討していく。



機能別団員辞令交付式

質問 観光客受け入れのための駐車場対策について

答弁:(経済部長)

庁内に「中心市街地賑わいづくりプロジェクト会議」を立上げ、駐車場確保を含め、中心市街地により賑わいを創出するための施策について議論を重ねた。その要件整理として、観光客用の駐車場確保及び来訪者の駐車場への誘導を円滑に行うための案内標識等の整備について取りまとめた。

今後、この取りまとめ結果を参考に、駐車場確保・利便性の向上に向けて関係機関、関係団体と協議を進める。

平成28年9月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第80号	専決処分の承認を求めることについて (平成28年度山鹿市一般会計補正予算(第3号))	承認
議案第81号	山鹿市職員の退職管理に関する条例	可決
議案第82号	山鹿市介護保険法に基づく事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第83号	山鹿市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく市準則を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第84号	平成28年度山鹿市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第85号	平成28年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第86号	平成28年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第87号	平成28年度山鹿市病院事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第88号	財産の取得について	可決
議案第89号	損害賠償の額を定めることについて	可決
認定第1号	平成27年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	平成27年度山鹿市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第3号	平成27年度山鹿市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第4号	平成27年度山鹿市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第5号	平成27年度山鹿市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第6号	平成27年度山鹿市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第7号	平成27年度六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第8号	平成27年度城北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第9号	平成27年度稲田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第10号	平成27年度稲田六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第11号	平成27年度山鹿市水道事業会計決算の認定について	認定
認定第12号	平成27年度山鹿市病院事業会計決算の認定について	認定
認定第13号	平成27年度山鹿市下水道事業会計決算の認定について	認定
請願第5号	花見坂(栄太郎横)～もくせい学園入り口間の電線地中化工事を求める請願書	継続審査

【主な議案】

平成28年度山鹿市一般会計補正予算
(第4号)

約5億5000万円

○災害復旧事業

本年6月から7月にかけての集中豪雨による災害の復旧。

・農業用施設災害復旧費

約6700万円

・公共土木施設災害復旧費

約3億1900万円

・林業施設災害復旧費

約1200万円

・公立学校施設災害復旧費

230万円

その他、小中学校各部の九州・全国大会出場支援事業、各種予防対策事業等

※平成28年度山鹿市一般会計補正予算(第3号)平成28年7月14日付け専決処分)でも風水害に対し約7900万円の災害復旧費



議会の主な動き

7月

- 1日(水) 矢谷溪谷キャンプ場オープンセレモニー
- 4日(月) 7月臨時議会・全員協議会・広報委員会
菊鹿町観光協会総会
- 6日(水) 山鹿市物産振興協会総会
- 20日(水) 全員協議会
- 25日(月) 県下議長会 臨時総会
- 26日(火) 建設経済常任委員会
- 28日(木) 山鹿地区更生保護大会

8月

- 1日(月) 建設経済常任委員会行政視察(～3日)
- 4日(木) 市民福祉常任委員会行政視察(～6日)
- 6日(土) 菊鹿戦没者追悼式
- 9日(火) 「平和を祈念する日」式典
- 12日(金) 山鹿市防衛議員連盟通常総会
- 13日(土) かもと招魂祭(～14日)
- 15日(月) 山鹿灯籠まつり(～16日)
- 17日(水) 議会運営委員会
- 25日(木) 9月定例会開会
全員協議会
- 30日(火) 百歳到達者表敬訪問
- 31日(水) 9月定例会質疑・一般質問
広報委員会

9月

- 1日(木) 9月定例会質疑・一般質問・委員会付託
- 2日(金) 建設経済常任委員会
- 5日(月) 市民福祉常任委員会
- 6日(火) 総務文教常任委員会
- 7日(水) 議会運営委員会
- 9日(金) 9月定例会閉会
全員協議会
- 10日(土) 山鹿市敬老表彰式典
- 15日(木) 広報委員会
- 18日(日) 市内最高齢者表敬訪問
- 26日(月) 百歳到達者表敬訪問
- 27日(火) 建設経済常任委員会
- 28日(水) 鹿北町戦没者追悼式
議会報告会
- 30日(金) 鹿央戦没者追悼式

先日、山鹿小学校の運動会に行ってきました。9月も終わりが近いのに、残暑厳しい中での運動会でありました。4月に入学したばかりの1年生も、見違える程キビキビした態度で、一生懸命頑張っていました。この6ヶ月間で、こんなに変わるものだと感心した次第です。

また、上級生も自分たちの競技や演技があるなか、会の運営や下級生のお世話をし、本気で運動会の成功に向けて皆が丸くなっていて姿を見ていた私まで、なんともすがすがしい気持ちになりました。

保護者の方々が、応援に来られた地域の方々も同じ思いではなかったかと思えます。そして何より、縁の下の力持ちに徹し、子どもたちをご指導いただいた先生方に感謝致します。

最後に、季節の変わり目でありませう。お体に留意されますように。 広報委員 横手啓介

編集後記

行政視察

ようこそ山鹿市へ

7月12日	佐賀県神埼市	観光振興の取り組みについて 菊鹿ワイナリーについて
7月28日	長崎県諫早市	認知症支援事業について
9月29日	青森県八戸市	養蚕事業について

傍聴する時の決まりごとについてお願い！

議会でどのようなことが行われているかを知るために、実際に会議や常任委員会の様子を生で見たり聞いたりすることを傍聴(ぼうちよう)といいます。

議場の秩序維持や円滑な議会運営のために、傍聴に際しては、「山鹿市議会傍聴規則」で決まりごとがあります。

今回は、その一部をご紹介します。

【傍聴席に入ることができない方】(抜粋)

- ・銃器その他危険なものを持っている方
- ・酒気を帯びていると認められる方
- ・楽器類を持っている方 等

【傍聴の時守るべきこと】(抜粋)

- ・議場における言論に対して拍手その他の方法により発言をしない
- ・談論(雑談)や高笑いなど騒ぎ立てない
- ・飲食や喫煙をしない
- ・写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない(特に議長の許可を得た方はこの限りではない)

詳しくは議会事務局(TEL43-1634)までお問い合わせください。

私たちは「時候のあいさつ」に制限があります

選挙区内の方に、年賀状や暑中・残暑見舞状などの時候のあいさつ(※1)(電報も含む)を出すのは、禁止されています。

ただし、「答礼(※2)のための自筆(※3)によるもの」は認められています。

また、選挙区内の方にあいさつする目的で、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどで有料広告(いわゆる名刺広告など)を出すことも禁止されています。このような広告を出すように求めることも禁止されています。

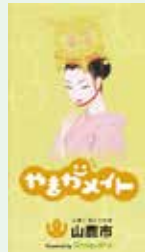
※1 時候のあいさつ状の範囲は?・・・

上記以外に寒中見舞い、クリスマスカード、喪中のはがき等、電報や電子郵便(メール)を利用しての年賀のあいさつも含まれます。

※2 答礼とは? =相手の時候のあいさつに答えて時候のあいさつすること

※3 「自筆」と認められないものは、コピーなどの複写・パソコン作成・他人の代筆・印刷屋作成・署名のみの自筆など。

やまがメイト サービス実施中!



スマートフォンなどで利用できる地域コミュニケーションアプリです。市や公式グループからの情報を受信でき、オフトークの代替として、また行政区単位での連絡網としても利用できます。出前講座も実施しますので、ぜひご利用ください。

問い合わせ
総務課情報管理室 ☎43-1117

登録方法

パソコン・従来型の携帯電話

- ①検索サイトで「やまがメイト」を検索
- ②パソコンはサイト上で新規登録、従来型の携帯電話は「regist@yamaga-mate.jp」へ空メールを送り、返信される登録用メールで新規登録

スマートフォン・タブレット

こちらのQRコードから登録できます→

